

これが、裁判？ えん罪？

映画監督 周防正行 講演会

それでも

ボクは

黙ってない

黙っていらなくなってしまうた映画作家の15年

えん罪とか司法制度とかに対して



Shall we ダンス？
それでもボクはやってない の名匠

映画「それでもボクはやってない」撮影風景（アルタミラピクチャーズ提供）

令和3年12月18日（土）午後1時30分～4時 入場料 500円 / 160席限定 / チケットは電子メールまたはお電話で受付 / 同時配信も実施
浜松市地域情報センター 浜松市中区中央一丁目12-7・遠州鉄道西鹿島線「遠州病院前」下車・徒歩2分

袴田事件がわかる会・50回記念 周防正行講演会「それでもボクは黙ってない」

講師 周防正行（映画監督） ほか来場予定 袴田 巖（えん罪被害者・死刑囚） / 袴田ひで子（袴田巖保佐人） / 小川秀世（袴田弁護団事務局長）

内容：周防正行監督講演・袴田ひで子さんご挨拶・ビデオメッセージ紹介・袴田巖さんの近況報告など

講師以外の来場予定者は、ビデオメッセージ出演になる場合があります / 緊急事態宣言発出などの場合、状況によって完全リモート開催になることがあります
マスク・検温・静粛な進行などにご協力ください / 会場の換気なども行います。暖かいお召しものをご用意ください / やむを得ない事情で出演者の変更が起る場合があります

主催：袴田さん支援クラブ・袴田サポーターズクラブ

info@free-iwao.com TEL.090-3938-3875（清水） www.free-iwao.com（無料同時配信・お申し込みはこちら）



これが、
裁判？
えん罪？

映画監督 周防正行 講演会

えん罪とか司法制度とかに対して「黙って」いられなくなってしまった映画作家の15年

まさか警察官や検察官、さらには裁判所までが、数多くの「えん罪」を作り出しているなんて……と思う人にこそ聴いていただきたい。



それでも
ボクは
黙ってない

Shall we ダンス?
それでもボクはやってない の名匠

1956年、東京都生まれ。
立教大学文学部仏文科在学中に映画評論家の運貫重彦の講義を受けたのをきっかけに映画監督を志し、自主映画を製作し始める。
86年、蛭子能収原作のTV『サラリーマン教室 係長は楽しいな』、87年、映画『マルサの女』のメイキング『マルサの女をマルサする』を監督。
89年、当時大映に在籍していた榎井省志がプロデューサーを務め『ファンシーダンス』を監督。
92年、『シコふんじゃった。』で日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞。
93年7月、『アルタミラピクチャーズ』の設立に参加。
96年、社交ダンスブームを巻き起こした『Shall we ダンス?』で第20回日本アカデミー賞 13部門独占受賞という快挙を果たし、05年にはハリウッドでリメイク版も公開された。
07年、痴漢冤罪事件を題材に刑事裁判を描いた『それでもボクはやってない』が公開され、各映画賞を受賞（キネマ旬報ベスト・テン日本映画部門1位ほか）。
11年、『ダンシング・チャップリン』が公開。単館上映にも関わらず、ロングランヒットとなり話題を呼んだ。
12年、『Shall we ダンス?』以来16年ぶりのコンビとなる、草刈民代と役所広司を迎え、『終の信託』を監督（毎日映画コンクール日本映画大賞）。
近作は14年『舞妓はレディ』（日本アカデミー賞3部門受賞）、19年『カツベン!』（日本アカデミー賞最優秀監督賞ほか8部門受賞）。

「再審法改正をめざす市民の会」共同代表・立教大学相撲部名誉監督・ヤクルトスワローズの熱狂的ファン

主な著書

『Shall we ダンス?』アメリカに行く（文春文庫）
それでもボクはやってない——日本の刑事裁判、まだまだ疑問あり！（幻冬舎）
周防正行のバレー入門（太田出版）
それでもボクは会議で闘う——ドキュメント刑事司法改革（岩波書店）



【袴田チャンネル】にも出演中！



監督所属の製作会社 アルタミラピクチャーズ



日本の再審事件を見ると、検察官は現実には自分たちがやった有罪立証について、もう一度真摯に調べてみる、要するに、もう一度これで正しかったのかということ調べてみる前に、絶対に自分たちがやったことは正しい、有罪に間違いないんだという形で、必ず抵抗する。要するに再審事件は、被告人対検察官という形の勝負のような形になって再審事件を考えていく。
多くの再審事件は必ず検察官が再審開始決定が出て、不服申し立てをしている。まるで、自分たちの捜査を振り返ることもなく、とにかく自分たちがやったことは正しいんだ、それしか言わないのです。せめて裁判所には、事件が起きた後の真相、要するに証拠関係とかを、取り調べがどう行われたのか、証拠がどう集められたのか、それをどう判断してきたのかということを取り返す、検証する。どういう事件であったのかということ、これが真実です。正しいと言っているのは大変なことですけど、そのあとに起きた

ことを検証することは出来るんです。すべて記録が残っているからです。

で、袴田事件をそういう形で見て振り返ってみると、本当に第二次「再審請求」で静岡地裁が出した判断は素晴らしいと思います。明らかに取り調べに違法性があり、証拠に関しては、捏造された可能性がまだわけではなく、正しい捜査によって、有罪立証がされたわけではない、その一点で、袴田事件は袴田さんは無罪だと思えます。逮捕から取り調べ、証拠、さまざまに出てきた証拠を検証したら、こんなにずさんで、いい加減で、本当でつちあげと言われても仕方ないような、無茶苦茶なことをやっているわけですから、裁判所は速やかに再審開始をして、袴田さんに「無罪」と宣告してほしいと思います。

【袴田チャンネル】それでもボクは黙ってない 周防監督のメッセージ (YouTube)

開場は当日午後1:00です
地域情報センターに駐車場はございません



令和3年12月18日(土) 午後1時30分～4時 入場料 500円/160席限定 / チケットは電子メールまたはお電話で受付 / 同時配信も実施

浜松市地域情報センター 浜松市中区中央一丁目12-7 遠州鉄道西鹿島線「遠州病院前」下車・徒歩2分

内容 周防正行監督講演

袴田ひで子さんご挨拶・ビデオメッセージ紹介
袴田巖さんの近況報告など

講師以外の来場予定者は、ビデオメッセージ出演になる場合があります / 緊急事態宣言発出などの場合、状況によって完全リモート開催になることがあります
マスク・検温・静粛な進行などにご協力ください / 会場の換気なども行います。暖かいお召しものをご用意ください / やむを得ない事情で出演者の変更が起こる場合があります

袴田事件がわかる会・50回記念 周防正行講演会「それでもボクは黙ってない」

主催：袴田さん支援クラブ・袴田サポーターズクラブ

入場料 500円・160席限定・お申し込みは電子メールまたはお電話で

メール info@free-iwao.com

お電話 090-3938-3875 (清水)

無料同時配信 www.free-iwao.com

同時配信は上のサイトでご覧いただけます (右のQRでも)

同時配信

